

2022-23 INTERNATIONAL ROTARY DISTRICT 2770  
ROTARY CLUB OF IWATSUKI  
since 1963



# Weekly Report



クラブ・スローガン Love ~愛をもって今を生きる~

会長 田畑寛樹  
幹事 関根信行

例会場：割烹「ふな又」 例会日：木曜日 第1・第2 12時30分 第3 18時00分点鐘  
事務所：さいたま市岩槻区本町3-8-2-203 TEL048-758-0680 FAX048-758-0681  
http://www.iwatsuki-rotaryclub.jp Mail:info@iwatsuki-rotaryclub.jp

田畑寛樹年度第31回

通算2837例会

令和6年5月2日

## 会長の時間 第61代会長 田畑 寛樹

親愛なる皆様、こんにちは。  
本日も皆様にお会いできたことに感謝を申し上げます。

先日開催されました4月第3例会にたくさんのご参加をいただきまして、誠にありがとうございました。会員増強・選考委員会主管の例会となり、津多会員、星会員による新会員卓話『イニシエーションスピーチ』でございました。



お二人のスピーチがとても素晴らしかったのはもちろんですが、スピーチしやすい環境（岩槻ロータリークラブ）を形づくって下さっております、全ての皆様にも衷心より感謝を申し上げます。私は毎週木曜日、皆様にお会いできるのがとても楽しみです。皆様も同じ気持ちでしたら幸いです。

本日は5月第1例会となり、私が会長を務める今年度も残すところあと2ヶ月となりました。残すところあと2ヶ月を考えると、初例会の時に関根幹事が『1年間には田畑会長と仲良くやっていたいこう』と思っております。『仰られておりましたので、2ヶ月後にはいつもの優しい関根幹事ではなくなってしまうのかなどドキドキしております。というのは冗談で、先日も会合がありましたが、足を痛めている私を心配して下さい、自宅まで送り届けて下さいました。関根幹事、誠にありがとうございました。皆様、会長職が終わります7月以降からも末永くよろしくお願い申し上げます。

本日の例会は、会長エレクト、次年度幹事（副幹事）主管の例会となり過日に開催されました地区クラブリーダーシップラーニングセミナー報告となります。小林 篤エレクト、内藤副幹事、先日は参加できずに誠に申し訳ありませんでした。新しいことを始める、スタートをするというのはとても素晴らしいと思います。何かを始めることに遅いということはなく、『始めたい』と思ったときにいつでも『始めるべき』だと私は思います。それと同じくらい大事なことは、『最後までやりきる』。人生観と同じだと思います。今度の混ざる下期のまさに『今』が私自身、次年度の小林 篤会長、内藤幹事予定者は、クラブのことを考える時間が更に増えて参りました。私は今年度を『皆で最後までやりきる』そして、次年度を『皆と一緒に始める（スタート）』その思いを大切に『今』を邁進敢行する所存でございます。本日報告されます対象者の方はよろしくお願い申し上げます。皆で刮目して、拝聴いたしましょう。

それでは最後に『私たちは、利他の心を養い、人を育てるとともに、献身的な奉仕活動を行う世界的な団体です。』『私たちは、世界で、地域社会で、そして自分自身の中で、持続可能な良い変化を生むために、そびとが手を取り合って行動する世界を目指しています。』

世界（all）が愛に溢れ、幸せでありますように。

以上で会長の時間とさせていただきます。

皆様、本日も何卒よろしくお願い申し上げます。

## 幹事報告

副幹事 内藤 明

- 地区社会奉仕部門地域社会奉仕・ブライダル委員会より婚活バス旅行「恋のぼりツアー」ご案内  
日程 2024年5月11日  
7:30 大宮駅西口集合  
行先 茨城県常陸太田市方面  
締切 2024年5月2日
- 第3・第4グループの入江ガバナー補佐、山崎ガバナー補佐及び石川実行委員長、菊池実行委員長より能登半島地震災害義援金チャリティゴルフコンペへの協力に対するお礼と義援金（131,000円）の報告が届きました。
- R I 日本事務局より財団室ニュース5月号
- 大宮東RC、岩槻東RC、大宮北東RCより5月予定表
- 大宮北東RCより3月分の週報



## 4月・5月の誕生祝い

- |    |     |         |             |
|----|-----|---------|-------------|
| 4月 | 1日  | 樵 康史 会員 |             |
| 5月 | 10日 | 関根信行 会員 | 13日 松永 豪 会員 |
|    | 21日 | 津多一幸 会員 |             |



◆ 次回の例会 ◆ 令和6年5月9日（木）地区クラブR L S報告 点鐘：12：30 会場：ふな又

## 委員会報告

### 青少年・財団・米山委員会 委員長 岡野 育広

- ・5月8日(水)、10日(金)の2日間、岩槻駅東口において岩槻高校インターアクト部が緑の募金活動を行いますので、会員の皆様にもぜひお力添え頂きますようお願いいたします。  
場所:東口タクシー乗り場付近  
時間:両日とも16:00~16:50を予定
- ・クラブとして米山奨学生を受け入れる為にも会員皆様お一人お一人の寄付のご協力をよろしく願いいたします



### 次年度社会・国際奉仕委員会 会長エレクト 小林 篤

4/23に開催された岩槻まつり財務・渉外事業部会に出席して参りました。例年通り皆様には協賛をお願い致します。今年度は祭への補助金が100万円ダウンということで実行委員会では非常に危機感を覚えております。パンフレット、YouTube、ジャンボひな壇、のぼり等、様々な協賛方法が準備されていますので次年度社会・国際奉仕委員会の田畑副委員長までお願いいたします。



## 地区クラブリーダーシップラーニングセミナー(研修・協議会)報告 1

### 会長部会

#### 会長エレクト小林 篤

会長部会では最初に岡村ガバナーエレクトよりご挨拶がありました。岡村ガバナーエレクトはDEI+B(多様性、公平性、包括性、帰属意識)を強く意識して2770地区の未来を見据えた活性化の為、クラブとしてありのままのあなたを受け入れ個々の能力を尊重しハラスメントがなく誰もが公平に活躍するために変わらなくてはならないことが大切だとお話しされました。

続けて次年度地区ラーニングファシリテーター中川パストガバナーより「会長のリーダーシップについて」先ずは「ロータリーとは」の説明があり続いて「変わらないものはロータリー本質である中核的価値観であり変わりゆくものはグローバル化するロータリーは一つのサイズではみんなに合わないということで柔軟性を与える、規則を少なくする、発展へ意欲を与える、より良く協力する、会員重視のクラブにしなくてはならないと説明されました。続いて「会長の責務」「クラブ定款と細則」「ビジョン声明と行動計画」「DEIと文化」について三分の二ぐらいの時間を使って体調が優れなく声が小さいながらも一生懸命お話しされました。

続いてローターアクト特別推進委員会の内山泰成委員長よりお話がありました。次年度岡村ガバナー直下の委員会です。次年度の最重要課題は会員増強であります。その次の課題はローターアクトの強化だと感じました。内山委員長がおはなしの最後にローターアクトクラブを設立したいクラブはありますか?の問いにクラブ三か年戦略計画に組み込みたいと思っていたので手を挙げたところ私ともう1人しか手を上げなかった。セミナー終了後、岡村ガバナーエレクトが私に是非ともローターアクトクラブを作ってくださいとお願いされました。責任を感じております。

続いて「地区予算について」を次年度地区会計の杉山さんより説明があり最後に熊木雄太郎ガバナーノミニーの感想でセミナー終了になりました。

最後に未来を見据えて変化しよう一多様性を力に皆さんと一緒にTOGETHER!

以上を持ちまして会長部会の報告になります。ありがとうございました。



### 幹事部会

#### 内藤 明 会員

- 1 幹事として事前準備しておく事項
  - ① MYROTARY への登録(アカウント取得)
  - ② クラブ定款細則の熟解  
→標準ロータリークラブ定款・細則と照らし合わせる。
  - ③ クラブの強みと改善点を分析
  - ④ 四つのテストの実践
- 2 地区からの依頼事項
  - ① 地区R I 分担金の納入
  - ② クラブ会員へMYROTARY への登録推進
  - ③ 地区への各種報告・提出書類の説明
  - ④ ガバナー公式訪問について→岩槻RC 10月3日予定
  - ⑤ ガバナー月信について
  - ⑥ 国際大会について 2025年6月カルガリー(カナダ)
- 3 セミナーを受講しての所管  
幹事としてクラブ会長をしっかりサポートし、クラブ会員に対しては細心の気配りをもって対応していきます。また、判断に迷った時は「四つのテスト」に照らし合わせてクラブ運営に邁進していく所存です。



### 公共イメージ部会

#### 樵 康史 会員

部門の方針は以下3点となります。

- ① ソーシャルネットワーク、ロータリーのHPの活用推進
- ② 会員増強のための情報発信と支援
- ③ ロータリーの活動をより多く広め、基盤を強化する

ソーシャルネットワーク、ロータリーHPの活用推進としては、まずJAPAN ROTARYの登録依頼のお話でした。JAPAN ROTARYのサイトとは2023年4月に地区やクラブへのスムーズな情報共有を行うために作成されたポータルサイトで、各年度のR Iの活動方針、3年間の目標、行動計画、会員増強、DEI、世界ポリオデーなどの項目毎の検索が



## 地区クラブリーダーシップラーニングセミナー(研修・協議会)報告 1

可能なサイトです。各クラブでの戦略計画や行動計画などの発表の際に利用できる資料もあります。現在総アクセス数が約 6,900 人と全国のロータリアン数の約 8%ほどの低い登録率となっているため登録推進をしていきましょうということでした。

次に地区HP、FB、LINEの活動でした。地区のHP利用についてはサイトの資料ダウンロードからクラブ紹介動画制作ツールやパンフレットの作成が可能になっており、作成のやり方も資料としてダウンロードが出来る状態になっております。また、地区HPへクラブの活動を一度は投稿をしてみてくださいとのことで、投稿例や投稿方法などのレクチャーをして頂きました。

方針二つ目の会員増強のための情報発信と支援についてですが、クラブの活動をより多くの方に知ってもらおうということで、クラブや地区の奉仕活動をSNSやマスコミを通じて知ってもらおうということでした。SNSを利用した活動の広報やFBでのイベント告知、奉仕活動などの企画、告知、マスコミ向けのプレスリリース、新聞などへの掲載といったところを推進していくとのことでした。

また、会員増強方法の一つとして、新しい運営方法を取り入れたクラブ(Eクラブ)の可能性を検討したいとのことでした。EクラブとはクラブのHP上で例会を開催。会員は好きな時間にアクセスし例会に参加出来る。寄付などもクラブ運営はHP上で行う。リアルで集まり例会を実施することもあるといったクラブです。メリットとしては、決まった時間に集まることが出来ない会員も例会に参加出来る。会員の位置づけは一般のロータリークラブ会員と同じ。会費は安めに設定出来る。会員は海外からも参加可能といったことがあげられます。

最後にロータリークラブの活動を広く知ってもらうことにより、会員の基盤を広げていき、新しい会員を増やすために新しい形のクラブを検討していきたいとのことでした。以上です。

### 会員増強維持部会 中村 正 会員

去る4月19日に次年度各クラブにおける主要目標が、RIからの指針に基づき地区方針が発表されました。大宮ソニックシティには各クラブの主要ポストに就く会員の皆さんが緊張の趣で臨んでいました。

例年ごとの進行でしたが次年度のRIの会長は、ロータリーの発祥であるアメリカからのしかも女性ということで当地域も初の女性ガバナー誕生であり岡村睦美次年度ガバナーの興味深くその話には深く魅了しました。次年度の地区役員の中にも多くの分野で女性の登用が見られ期待する姿勢が強うかがえます。

午後より部会毎に分かれ、会員増強維持部会もソニックシティの部屋に移動し昼食を挟んで部会に臨みました。ロータリーの組織を維持して行く為には、会員増強は最重要課題であり重点目標の一つでもあります。

分科会では、各クラブの会員数により班別編成となりました。まず、担当諮問委員 松本輝夫(元パストガバナー)からのお願い事項があり次年度RI会長のアーチック氏の掲げる各地区へ4つの新クラブの設立と100名の増強目標を強く話されました。地域、大学にローターアクトの設立等により、組織でガバナー直結の特別推進委員会を立ち上

げて、ロータリー会員と同等の位置付で会員数を増やすとのことです。続いて、羽田しげみ次年度会員増強維持部門委員長より4つのクラブの設立と100名増強のお願いがありました。

※4つのクラブとは、

- ①ローターアクトクラブ
- ②Eクラブ(オンラインにての例会)
- ③法人内クラブ(会員が同じ職場で働く人にて)
- ④パスポートクラブ(会員が毎年一定数例会に出席し他のクラブ例会や奉仕プロジェクトに参加する事)

続いて、小林会員増強維持委員長より当地区もコロナ感染症蔓延の影響でロータリー活動が縮小されたが100名の会員が増えるも退会者も多くいて歯止めをかける為にも、クラブの活性化と会員維持に努めて欲しいと話されました。

続いて、班別内でそれぞれのクラブの現状と会員増強・維持の取組を少しの時間を利用して行った。どのクラブも増強は難しく退会者もおり維持するだけで精一杯の様です。

### 増強の取組として、

- ・日頃の人との繋がりの中で発掘し無理の無い勧誘をすすめること。
- ・最初の入会時が大事であり、推薦者はクラブ内容をよく説明する事が最も重要なことであり納得して入会して貰うことで退会者は少なくなる。
- ・発掘には地元は勿論ですが、他地区(市区外)の方にも積極的に声をかけ市中銀行等からの情報等も一つの方法とする。
- ・入会のパンフレットも刷新し、新たな広報を兼ねて活用することも大切。
- ・新会員となった方には役をお願いし、多くのイベントを計画し積極的に参加してクラブでの存在感発揮していただく事が大切である。
- ・クラブの魅力を発信する工夫(広報)

### 会員維持として

- ・例会プログラムを充実し、マンネリ化は避ける。
- ・入会して退会理由は、高齢化、経済的理由、本人の健康や家族の介護、又、入会3年未満の退会者が出る場合があり、入会後は推薦者のカウンセリングも必要
- ・人間関係・クラブが期待外れ・業務多忙で出席が遠のく。
- ・クラブの親睦や奉仕活動を活性化するアイデアを会員から募ること。

他の地区で調査した結果で、クラブの強化は、退会理由を理解することから始まると言われていました。

入会者が、会員義務について十分な説明を受けなかったり、十分な教育が得られなかった理由も挙げられています。新会員が早くクラブに溶け込む努力が大切です。地区で予定している会員増強維持セミナーにて

第2840地区パストガバナー「田中 久夫」氏(高崎ロータリークラブ)のご講演が予定されています。

### 職業奉仕部会

#### 池田 智昭 会員

中里PGの挨拶により部会が開催されました。

中川富保子委員長より、次年度の職業奉仕部門委員会はロータリーにとって普遍的でかわらぬ四つのテスト、国際ロータリーの中核的価値観(親睦、高潔性、多様性、



## 地区クラブリーダーシップラーニングセミナー(研修・協議会)報告 1

奉仕、リーダーシップ)を再確認し各クラブに推奨していくとの事。また、これらを推奨するにあたり、「DEI+B」の重要性を理解し、より広める活動を行っていきたいとの事。「ロータリアンらしい行動」とはどうすればよいか。それは「奉仕の理念」にのっとり自分自身を律し、職業を遂行することです。それが四つのテストです。自分と相手の利害が対立するとき、会社の進むべき道に迷ったとき等に思い出し、四つすべてにあてはまる決断と行動をすることがロータリアンらしい行動であり、「職業奉仕」となります。また、DEI+Bについて多様性、公平、ロータリーにおいてのインクルーシブとはすべての人に歓迎され、尊重され、大切にされる環境をつくることであり、インクルーシブなクラブ(多様な会員が相互に理解している状態)を目指します。

また+B:Belonging 帰属意識を持つこと(自分が集団・組織の一員とであるという意識・自覚を持つ)DEI+Bの理解をもって再確認し、より広める活動を行っていく。

最後に新井奉仕委員長より職業奉仕の事例を紹介があり部会が終了いたしました。

### 米山記念奨学部会

#### 鈴木 真樹 会員

部会では大貫パストガバナーほか各部門委員長からの挨拶の中で米山記念奨学事業の使命、日本最大の民間奨学事業、世話クラブカウンセラー制度についてのお話がありました。



#### 2024-25年度事業

- ① 米山奨学生・カウンセラー初顔合わせ会 4/6
- ② 入学式 4/21 ワシントンホテル浦和
- ③ 学友会春の研修旅行 5/18 米山梅吉記念館見学・近隣観光・富士登山(7月末予定)
- ④ 米山記念奨学部門セミナー 8/10
- ⑤ 学友会主催合同奉仕活動  
○ 10月米山月間 米山奨学生を卓話にご招待ください
- ⑥ カウンセラー研修会 10/19
- ⑦ 学友会秋の研修旅行 11/23
- ⑧ 感謝の集い 12/14  
○ 3月米山月間 米山奨学生を卓話にご招待ください
- ⑨ 米山奨学生修了式 2025年3月16日

**世話クラブ選考の基準**となる期間は選考年度を含む過去2年半です。当該年度の会長の米山寄付増進の努力を当該年度の世話クラブ選考に反映すべく、選考の基準となる期間を選考年度に含まない過去2年間から、選考年度を含む過去2年半にいたしました。その結果として、7月から始まる上半期(12月31日まで)に寄付を集中させるクラブが当該年度の世話クラブ選考では有利になりますので、ご注意ください。

質疑応答では、「なぜ中国の奨学生が多いのか?」という質問が出ました。奨学生の選考において論文を提出してもらう中で日本に対しての思いや、やりたいことがすごくまとまっている子が採用されるということでした。(新規と継続を合わせて36名中、14名が中国)

中国の学生は帰国してしまうと連絡がつかなくなる事が多いので、両国の架け橋になってもらうのが目的の米山記念奨学事業としては疑問が残ります。

### 国際奉仕部会

#### 津多 一幸 会員

地区クラブリーダーシップラーニングセミナー国際奉仕部門、奉仕プロジェクト国際奉仕部会に参加させていただきました。

次年度奉仕部門委員長、辻本恵太氏率いる各委員長からの発表の中で、各クラブ、また個人として国際奉仕事業への理解・推進のお話がありました。奉仕事業を新たな国で行う難しさや国民性・治安等の問題も含めた具体的な実行例を挙げ、実際にホームステイを経験した方(現ロータリアン)からのお話もありました。

大事なのは現地国の「キーマン」とされる仲介役の方、そして自国のロータリアンの中でその国に詳しいクラブ等の役割が肝心だとお聞きしました。

実際に国際奉仕事業に精通している方々の発表は大変熱があり、そのプロジェクトの充実さを強く感じました。今後当クラブでの国際奉仕事業等があった際は、セミナーでの学びを旨に活動してまいりたいと思います。



### スマイルBOX

- 伊藤真守 宜しくお願い致します。  
池田智昭 本日もよろしくお願ひいたします。  
岡野育広 報告楽しみにしております。本日もよろしくお願ひします。  
樵 康史 本日も宜しくお願ひします。  
小林 篤 本日は地区クラブリーダーシップラーニングセミナー報告になります。皆様宜しくお願ひします。  
鈴木真樹 本日のセミナー報告宜しくお願ひ致します。  
関根信行 よろしくお願ひ致します。  
田畑寛樹 親愛なる皆様、こんにちは。関根会員、松永会員、津多会員、お誕生日誠にありがとうございます。本日は地区クラブリーダーシップラーニングセミナー報告となります。対象者の皆様よろしくお願ひ申し上げます。皆様本日も何卒宜しくお願ひ申し上げます。  
津多一幸 報告よろしくお願ひします!  
内藤 明 セミナー報告よろしくお願ひします。  
中村 正 ラーニングセミナー報告宜しく!  
原田晃博 小林エレクト、PELS参加お疲れ様です。  
三浦宣之 宜しくお願ひします。

#### 出席報告

会員数	出席数	免除者	MU	出席率
21	13		3	76.19%

#### スマイル報告

本日のスマイル合計	19,000円
年間累計額	600,000円